

2026年9月期第2四半期

決算補足説明資料



株式会社 F C E
2026年5月14日
東証スタンダード
証券コード：9564



会社概要

会社名 | 株式会社 FCE 証券コード：9564

設立 | 2017年4月21日
グループ創業2004年2月19日

従業員数 | 300名 ※2026年4月1日現在（2026年新卒10名含む）

Purpose

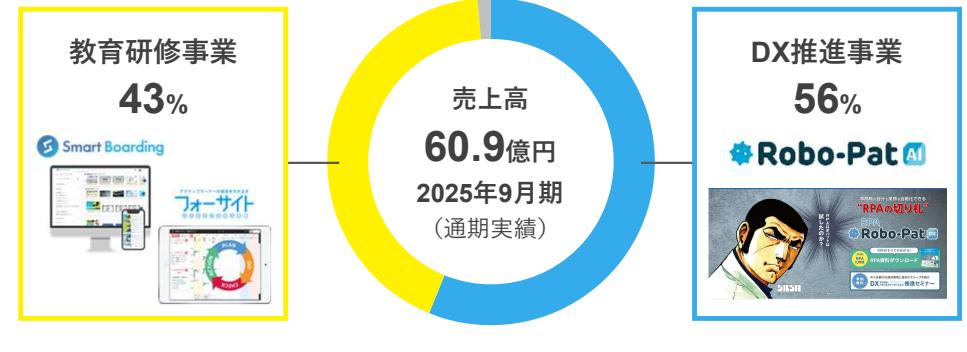
チャレンジあふれる未来をつくる

Mission

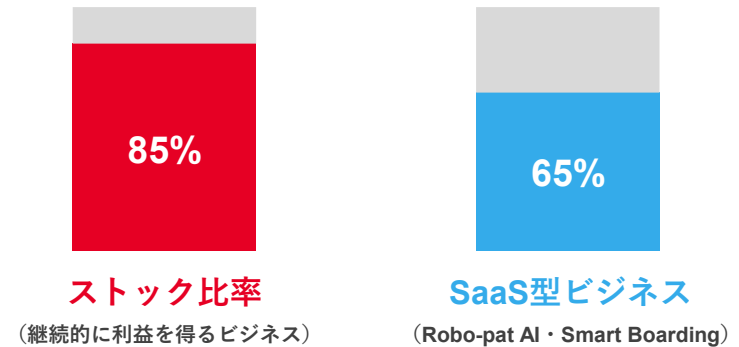


人的資本の最大化に貢献する

主要な事業（事業セグメント）



売上構成（2025年9月期実績 売上高60.9億円の割合）



エグゼクティブ・サマリー①

2026年9月期第2四半期業績

売上高

3,434百万円 (前年比+14.0%) 

経常利益

763百万円 (前年比+14.5%) 

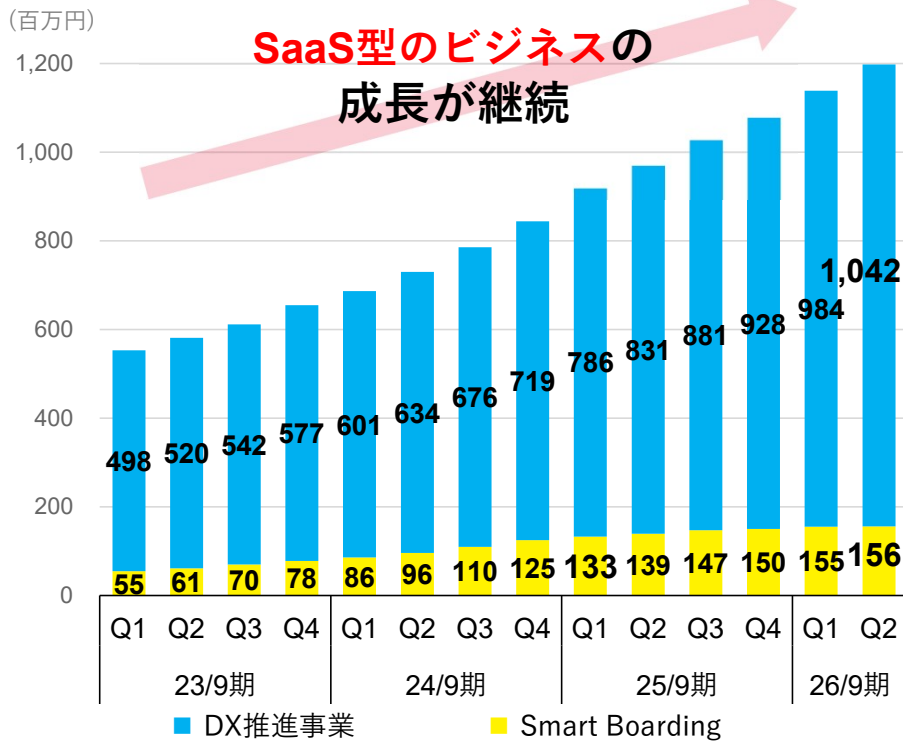
トピックス

- ▶ 「働きがいのある会社ランキング」女性部門ベストカンパニーおよび「Motivation Company」に選出
- ▶ 『7つの習慣』日本語版出版30周年、記念キャンペーン始動
- ▶ 「AIを活用するリスクマネジメント研修」を提供準備を開始
- ▶ 「AI組織活用研修・コンサルティング」の提供開始

エグゼクティブ・サマリー②

RPAを活用したDX支援SaaS ※1 「ロボパットAI」及び社員教育のSaaS「Smart Boarding」を提供する
SaaS型のビジネスが順調な成長を継続しており、引き続き、当社収益の中核を担う

SaaS型ビジネス四半期推移



DX推進事業 売上高

▶ 四半期売上高 (26/9期Q2)
1,042 百万円 **+25.4%** (前年同期比)

▶ ハイライト

- ✓若手社員の早期育成からの活躍もあり、高い成長率を継続
- ✓AI機能搭載により利便性向上、チャーンレートは低位維持(1%台継続)
- ✓導入社数も順調に増加(2026年3月末時点で2,055社に到達)
- ✓生成AIの普及により市場の追い風

Smart Boarding 売上高

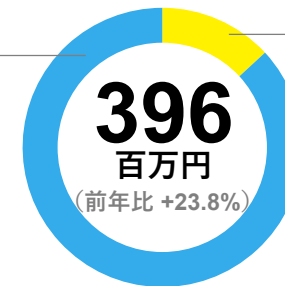
▶ 四半期売上高 (26/9期Q2)
156 百万円 **+12.2%** (前年同期比)

▶ ハイライト

- ✓チャーンレートは引き続き低位水準を維持
- ✓顧客からご要望の多い新しいコンテンツ・学習コースの追加やAIロープレ機能等の機能強化を推進
- ✓Smart Boardingは直販への注力により、1社当たり売上 (ARPU) が向上傾向

SaaS型ビジネスMRR ※2

Robo-Pat AI
344 百万円



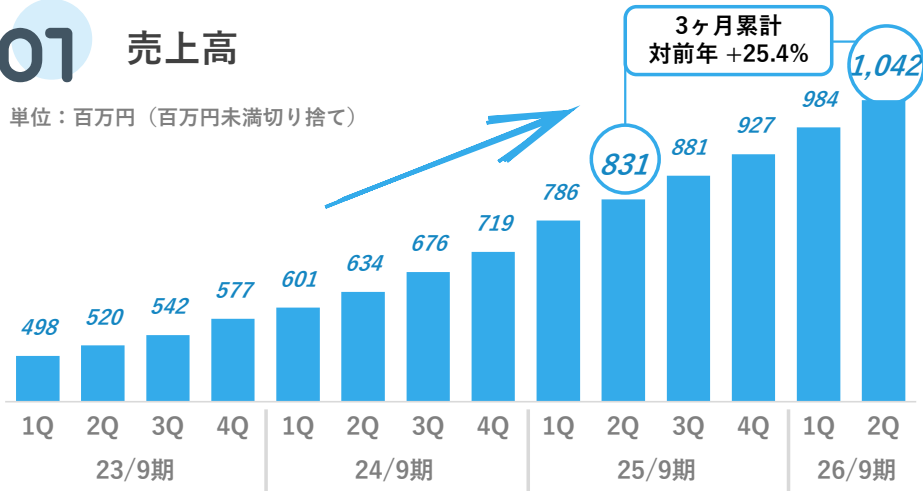
Smart Boarding
52 百万円

※1: SaaS (Software as a Service) 契約が継続する限り毎月定額の収益になるサブスクリプションモデル
 ※2: MRR (Monthly Recurring Revenue) 2026年9月期第2四半期末時点の毎月繰り返し発生する売上金額

DX推進事業 | 業績と主要KPI

01 売上高

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

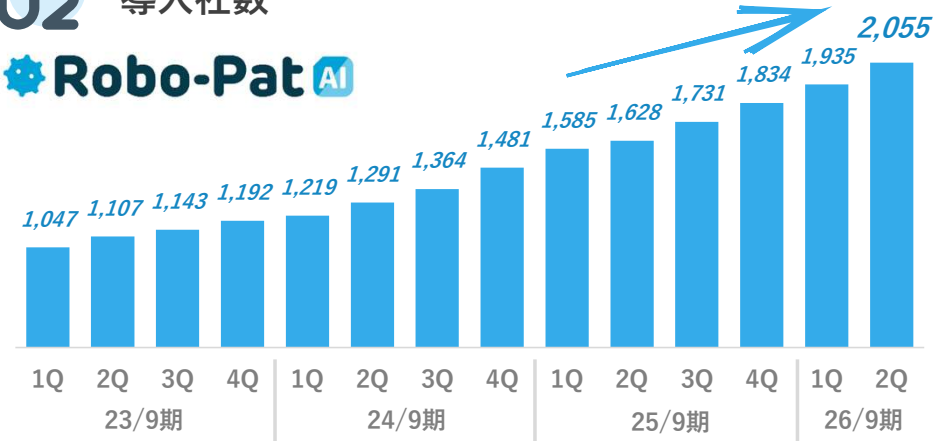


チャーンレート **1%台**



02 導入社数

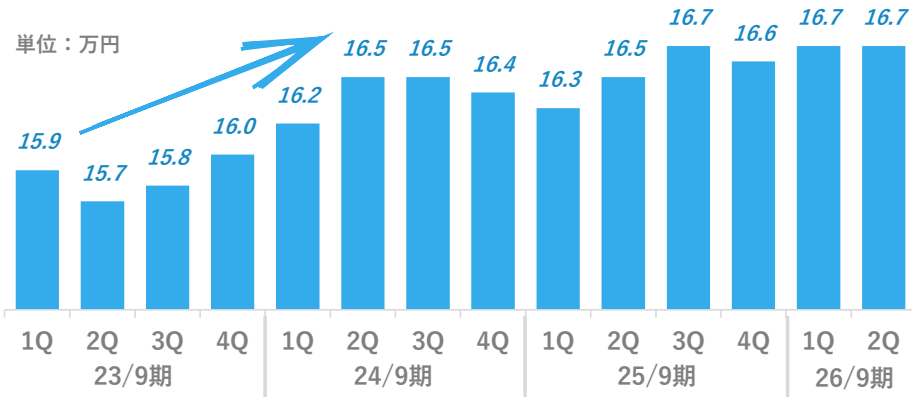
Robo-Pat AI



03

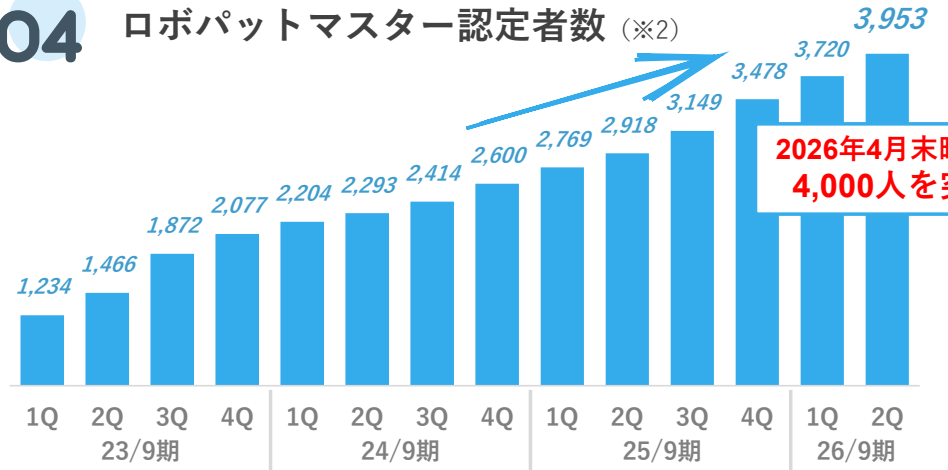
ARPU (※1)

単位：万円



04

ロボパットマスター認定者数 (※2)



※1：ARPU（Average Revenue Per User）2026年9月期第1四半期末時点のRPAロボパットDX1導入社あたりの売上平均金額

※2：「RPAロボパットDX」を使い導入企業様の社内で「DX」化を促進する認定者

トピックス①

全社



「働きがいのある会社」
ランキング女性部門にお
いてもベストカンパニー
として選出されました。

当社は2026年2月に発表された「働きがいのある会社」ランキング（従業員100～999名部門）にて7位にランクインしました。

リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000398.000029370.html>

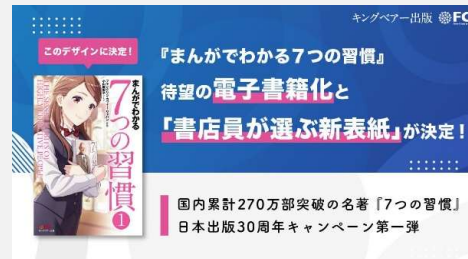


従業員エンゲージメント
(※)が高い企業である
Motivation Companyに
選出されました。

※ 従業員エンゲージメント：会社への愛着や、仕事への情熱の度合いを示す指標

リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000393.000029370.html>

出版事業



『7つの習慣』日本語版出版30周年記念キャンペーンを始動

- ・『まんがでわかる7つの習慣』電子書籍化
- ・『まんがでわかる7つの習慣』紙版のリニューアル
- ・『まんがでわかる7つの習慣』電子書籍を777円（税込）オーディオブック『7つの習慣』（原著）を1,777円（税込）で期間限定で特別販売

第1弾リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000394.000029370.html>

第2弾リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000402.000029370.html>

第3弾リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000410.000029370.html>

トピックス②

「AIリスクマネジメント研修」 の提供準備を開始

開発の
目的
背景

- AI利用リスクへの懸念に対し、企業として安心・安全にAIを活用する体制の構築を支援
- 社内のAIリテラシー格差を解消し、全社員のAIリテラシー向上

全ての法人企業を対象に、AIの特性理解、セキュリティリスク対策などにつき、4時間のプログラムでご提供

今後の
展望

単なるリスク回避にとどまらず、「ロボパットAI」や「AI OMNI AGENT」などの安全なITツールを組み合わせた実践的なDX推進をサポート

リリース内容：
<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/cb3dc6af/b521/4482/98f8/5494e2e496df/140120260428512572.pdf>

「AI組織活用研修・コンサルティング」 の提供開始

開発の
目的
背景

AIツールの導入にとどまらず、AI研修・生成AI活用
コンサルティング・AIエージェント導入支援・
Smart Boardingによる定着化を一気通貫で提供

「AI組織活用研修・コンサルティング」の内容

ステップ	テーマ	役割
01	LEARN：AIを主体的に使う 人財を育てる	研修・ワーク ショップ
02	USE：最適なAIツールを選び、業 務に組み込む	コンサル・ 導入支援
03	GROW：Smart Boardingで 定着・習慣化する	継続学習・ 定着支援

リリース内容：
<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/d6d97354/c4e4/45d5/829c/4965a226398e/140120260513527712.pdf>

2026年9月期 第2四半期 | 決算概要

売上高

第2四半期の売上高はDX推進事業・教育研修事業ともに増収となり、前年同期比で14.0%の増収

経常利益

第2四半期の経常利益は主にSaaS型ビジネスの増収の影響により、前年同期比で14.5%の増益

単位：百万円	2025年9月期		2026年9月期 上期				2026年9月期 通期	
	2Q (1-3月)	上期 (累計)	2Q (1-3月)	上期 (累計)	前年同期比 (3か月)	前年同期比 (6か月)	通期予想	進捗率
売上高	1,637	3,012	1,846	3,434	+209 (+12.8%)	+421 (+14.0%)	6,800	50.5%
営業利益	400	649	440	742	+40 (+10.1%)	+93 (+14.4%)	1,130	65.7%
経常利益	410	666	451	763	+41 (+10.1%)	+96 (+14.5%)	1,160	65.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	281	456	309	539	+28 (+10.1%)	+83 (+18.3%)	865	62.4%
EBITDA※	422	691	466	792	+44 (+10.5%)	+101 (+14.7%)	1,203	-
経常利益率	25.1%	22.1%	24.5%	22.2%	△0.6%pts	+0.1%pts	17.1%	-

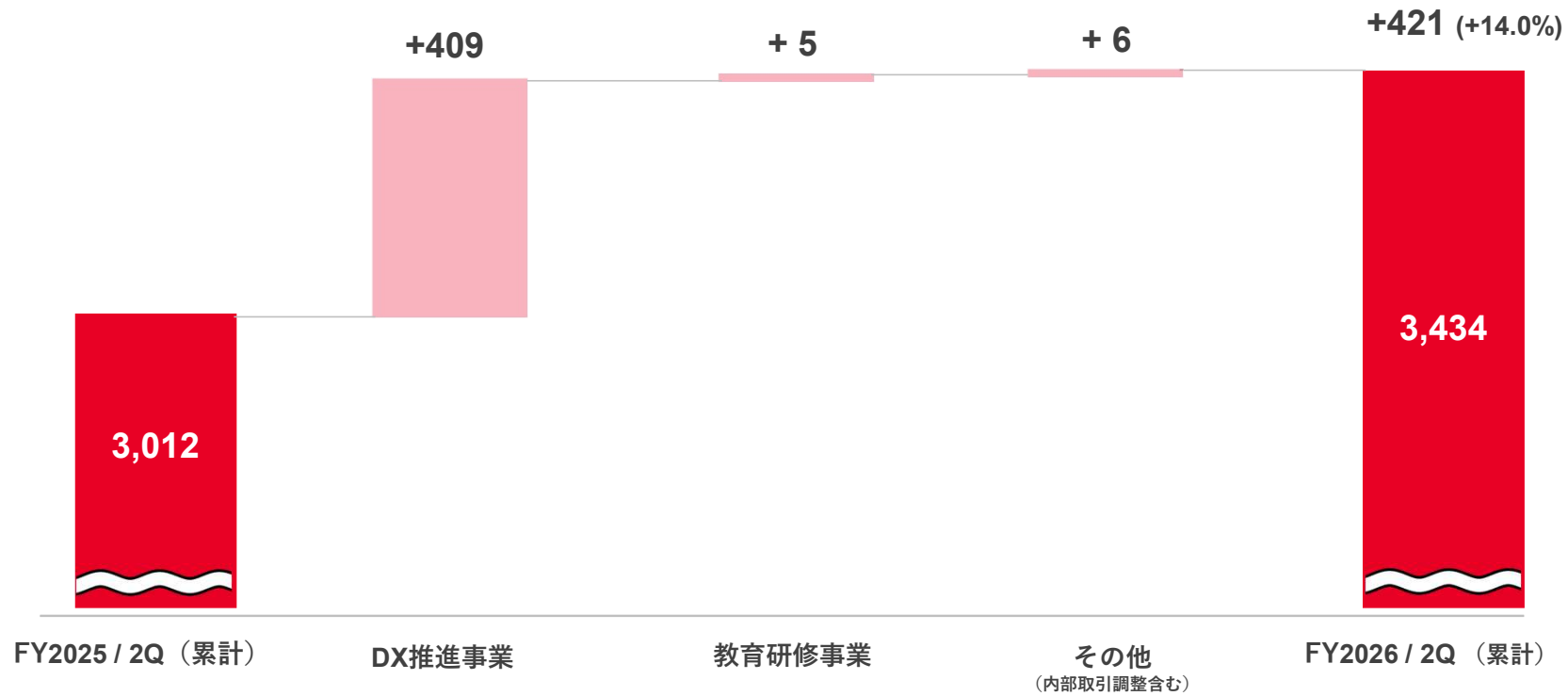
単位：百万円（百万円未満切捨て）

※ EBITDA=営業利益+償却費（減価償却費+のれん償却+保証金償却+長期前払償却）

2026年9月期 上期 | 売上高

主にDX推進事業(ロボパットAI) が好調に推移
教育研修事業も一部、フォーサイト手帳の出荷計上のQ3への期ズレがあったものの増収で着地

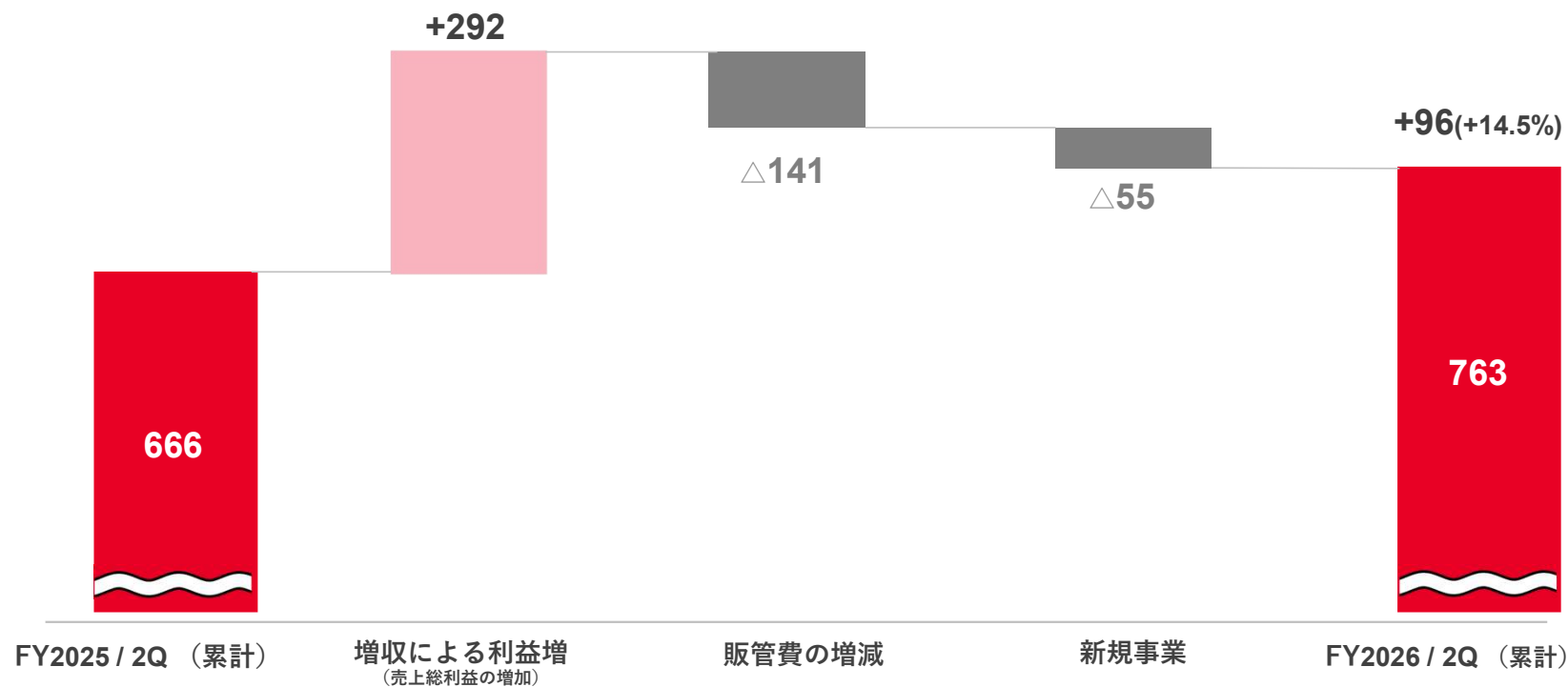
単位：百万円



2026年9月期 上期 | 経常利益

主に増収による利益増により、経常利益全体では増益での着地
販管費の増加は主に新規事業への投資、人員増、広告宣伝・販促・業務委託料などが挙げられる

単位：百万円





2026年9月期 通期

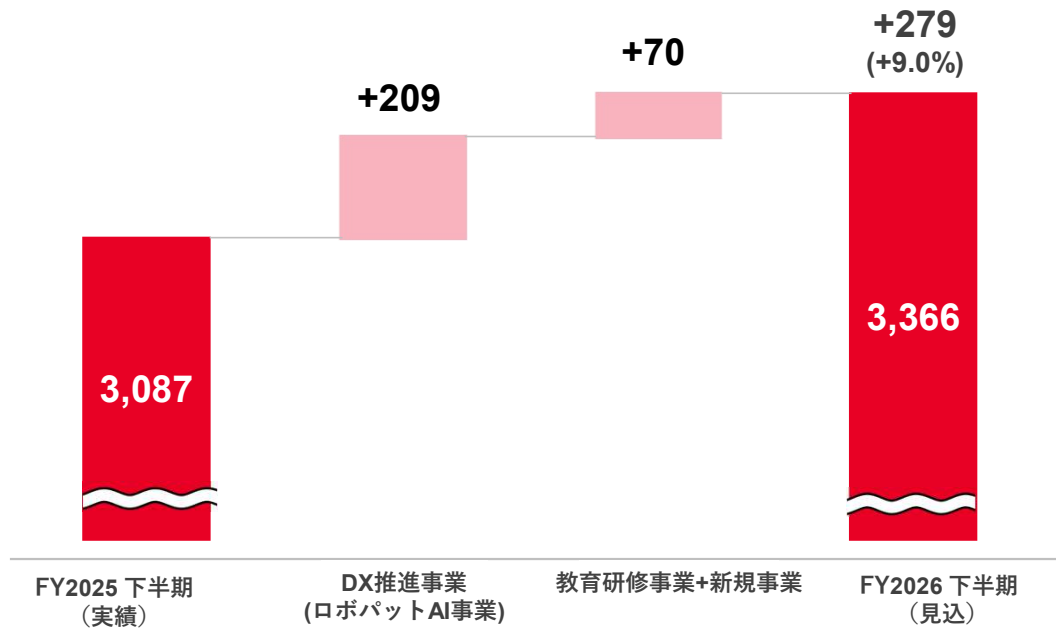
費用の季節性・平準化について

例年、Q4（7－9月期）に費用を集中的に投下する費用の季節性があったが、今期においては期初より優秀な人財獲得にかかる採用の前倒しや新規事業にかかる投資を行っており、通年の費用が平準化されている

	Q1 (10-12月)	Q2 (1-3月)	Q3 (4-6月)	Q4 (7-9月)
2025年 9月期まで	通常の人件費や広告宣伝等			翌期に向けた 採用前倒し・ 広告宣伝費の投下 (季節性)
2026年 9月期	通常の人件費や広告宣伝等に加えて 優秀人財層の採用・強化や新規事業投資等を各四半期平準化して実施			

2026年9月期 下期 | 売上高の見込み

単位：百万円



数値前提

●DX推進事業：

「ロボパットAI」は、生産性向上のニーズを捕捉しながら市場の拡大にあわせて導入企業の開拓や既存導入企業の更なる利用拡大を推進

●教育研修事業：

研修事業を中心に既存の顧客基盤を活かし、「レジリエンス研修®」等の研修サービスの提供やパートナー企業の募集により増収を推進

●新規事業（AIエージェント事業）

「AI OMNI AGENT」の売上高はまだ業績予想に含めておらず、事業の進捗に応じて今後反映予定。有償トライアルや契約獲得をしつつ、PMF（Product Market Fit）を推進しながら営業活動を展開中

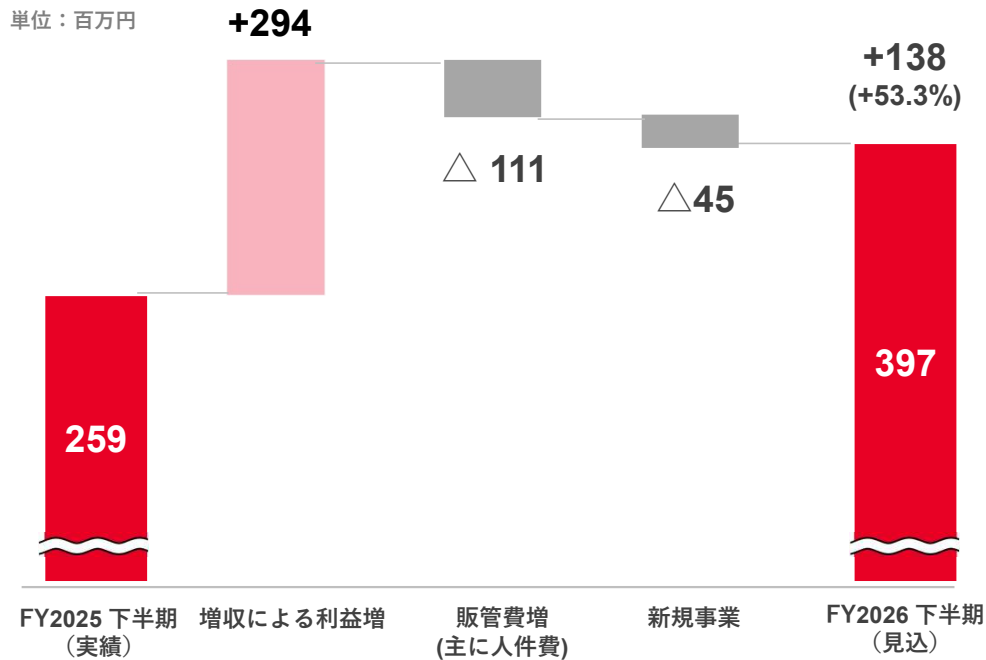
（全体）

引き続き第3四半期の状況をみながら通期の売上高水準は確認していく。



2026年9月期 下期

経常利益の見込み



数値前提

- 増収による利益増：
DX推進事業の「ロボパットAI」事業を中心に利益の増加を見込む
- 販管費の増加：
引き続き、積極的な人財採用、人財投資や広告宣伝投資を進めるため増加を見込む
- その他：
「AI OMNI AGENT」事業に関連する人件費や広告宣伝費などへの投資を引き続き想定
- 投資の考え方：
2025年9月期までの傾向
利益計画の達成を見込んでから、翌期の成長へ向けてQ4に集中して投資（Q4偏重型）

2026年9月期の傾向

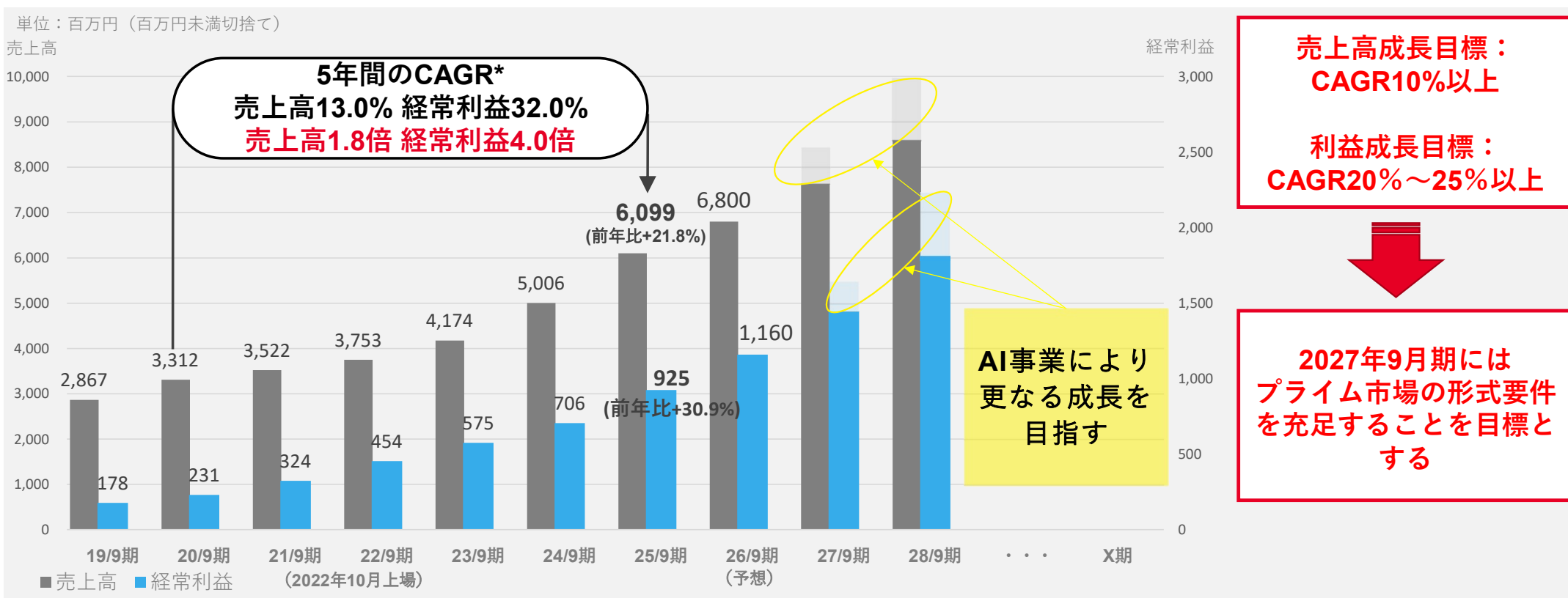
人財採用・広告宣伝費・新規事業への投資等、上期より必要な投資を前倒し実行したため、上期の利益が抑制され下期の利益が増加する見込み（平準化傾向）

バランスシートの概況

単位：百万円	2025年9月末	2025年12月末	2026年3月末	増減 (前年度末25/9比)	
現金及び預金	3,175	2,803	2,803	△371	賞与支払や未払金の支払い等 もあり、現金及び預金は △371百万円
その他流動資産	761	797	1,014	+252	売掛金+212百万円 学校の新年度に伴うFS手帳や教材関連 の販売による増加
流動資産合計	3,936	3,600	3,817	△118	
固定資産合計	1,790	1,853	1,918	+127	ソフトウェア+63百万円 長期前払費用+30百万円など
資産合計	5,727	5,453	5,735	+8	
負債合計	1,928	1,572	1,516	△411	賞与引当金 △215百万円 契約負債 △188百万円など
株主資本	3,896	3,967	4,277	+381	
その他純資産項目	△97	△85	△59	+38	
純資産合計	3,799	3,881	4,218	+419	純利益+374百万円 その他有価証券評価差額金 +38百万円など
負債純資産合計	5,727	5,453	5,735	+8	
自己資本比率	66.3%	71.2%	73.5%	+7.2% pts	

FCEの事業方針①

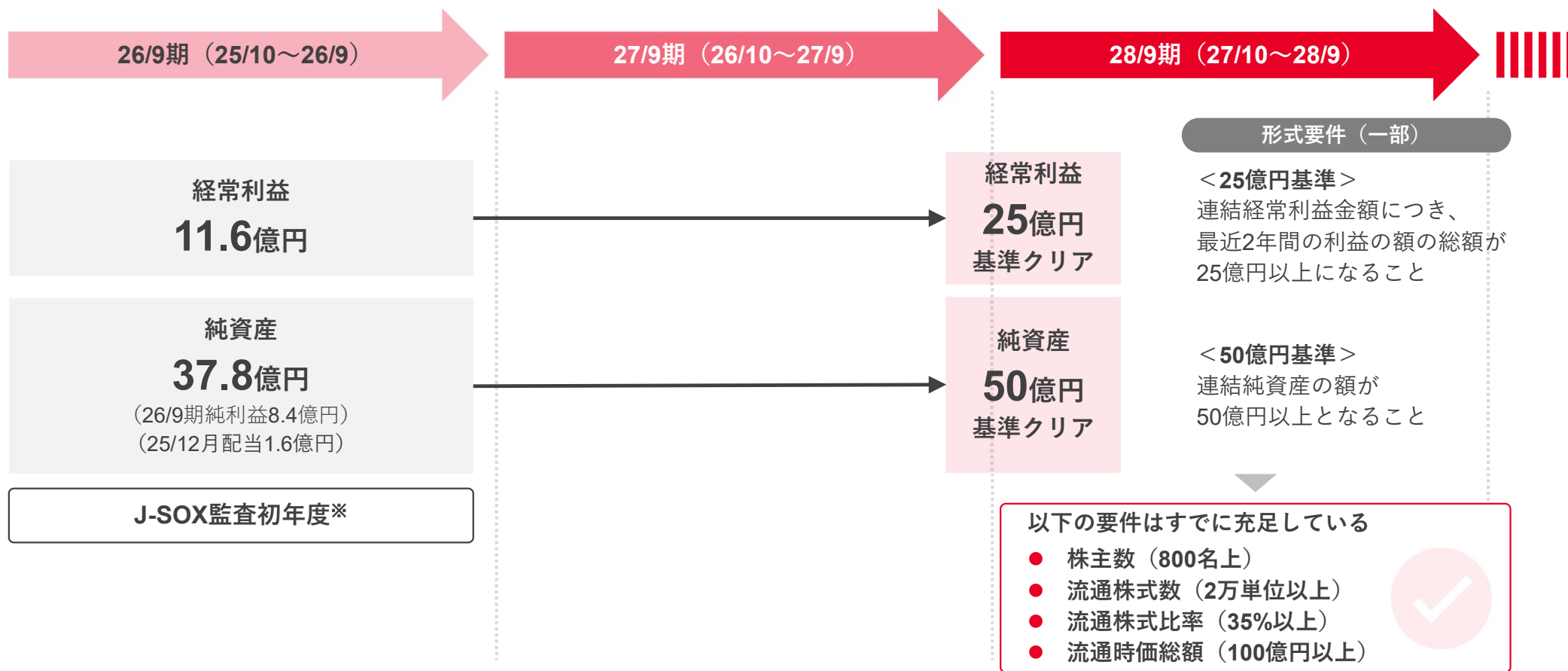
売上高・利益ともに過去より每期、継続的な成長を実現。今後も着実な成長を目指す。



*CAGR：Compound Annual Growth Rate（年平均成長率）

FCEの事業方針②

プライム市場を視野に入れ、プライム市場の形式要件を27/9期で充足させることを目標とする。



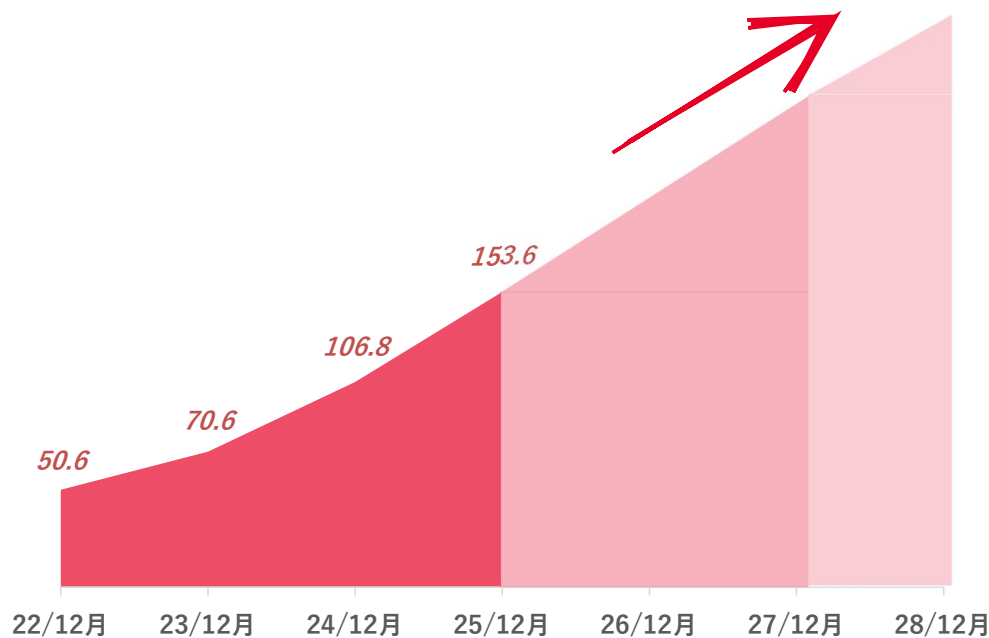
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について：今後の方針

ROE改善・資本コスト低減・期待成長率上昇で時価総額上昇を狙う。

時価総額推移と今後の目標

右記3つの観点に基づき時価総額上昇を図り、
27/12月を目途にプライム市場形式要件の充足を目指す。

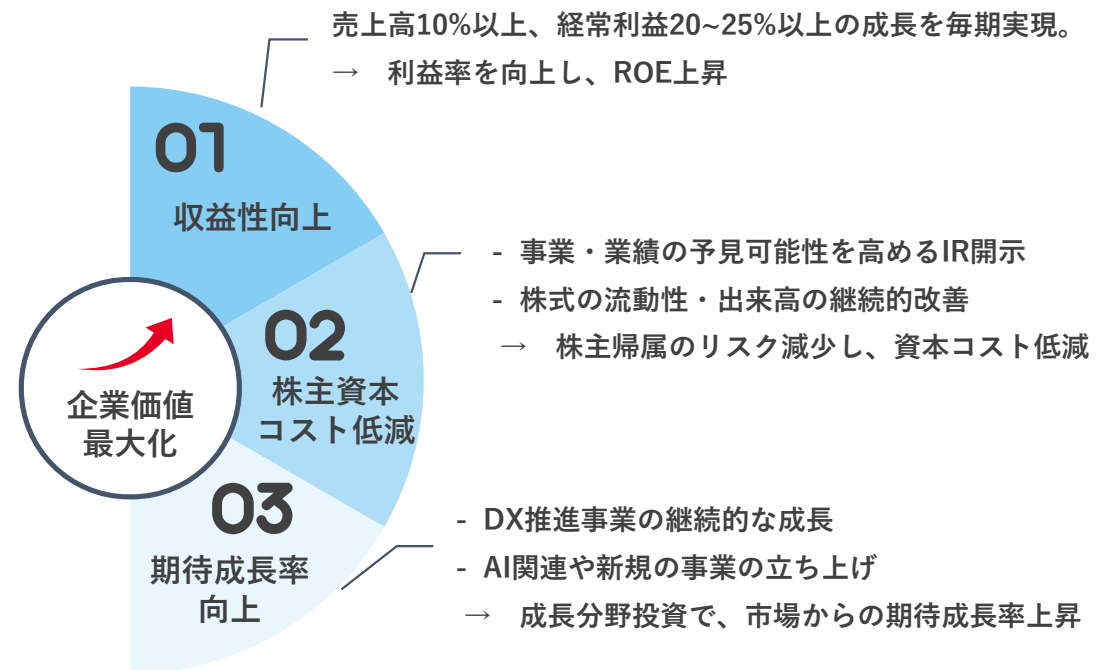
(単位：億円)



※上記数値は当社試算値であり、前提条件（成長率・割引率等）の変動でレンジは変動し得る。

© 2026 FCE Inc. cf.) 2026.2.12 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）

目標達成に向けた方針



$$PBR = ROE \times PER \approx \frac{ROE}{Ke - g}$$

Ke：株主資本コスト g：期待成長率

IR information



本説明資料やその他IRに関するご意見やご質問は、
メール・IRお問い合わせフォーム・IR公式 X (Twitter) より
お問い合わせください。

ir@fce-hd.co.jp



コーポレートサイトでは、決算説明資料・Q & Aの採録他、
アナリストレポート等もご覧いただけます。

<https://fce-hd.co.jp/ir/>



公式の X (Twitter) では適宜情報発信をしております。

https://x.com/fce_ir



本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社及び当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。